

ポーランド旅行レポート

主な観光先：

スタットホフ強制収監所

ソリダノスク記念館

教会

ヴェストプラッタ（二次戦最初の戦闘が行われた場所）



珍しく晴れた日に撮ったグダンスクの写真。写真奥に見える黒っぽい建物は昔港町だったころ人力で貨物を船に乘せるためのいわばタワークレーンとして機能していた。内部で人が引っ張って貨物を持ち上げていたらしい。



ヴェストプラッタに残された要塞跡。周囲は公園となっている。もとは二階建てだが、度重なる砲撃で二階部分はほぼ消滅してしまった。



要塞内部。当時のまま保存されている。岸からドイツ軍の軍艦が集中砲火した場所。ドイツ4対ポーランド1という圧倒的な人数差の中必死にポーランド兵が防衛していた。



ヴェストプラッタ要塞の付近にある記念碑。

今回のポーランド旅行は主に第二次世界大戦の戦火の跡を巡りました。特に今回の滞在先であったグダンスク（独名：ダンジグ）は大戦中ヨーロッパの中でも特に激しく戦闘が行われた町でもあり、60年以上たった今でも町のいたるところに崩れかけた廃墟や銃弾の痕といった生々しい記録が残されていました。

中でも特に記憶に残ったのはヴェストプラッタに残された警備隊の要塞跡でした。ドイツ軍の集中砲火によって半壊にされた要塞がそのまま保存されています。むき出しになった鉄骨や崩れた壁などはいずれも全て戦闘の激しさを物語っており、衝撃的な経験となりました。

あいにく滞在していた間は天候に恵まれずほとんどのツアーを雨天の中決行することになりましたが、少しでも晴れた時のグダンスクの町は絶景でした。

ポーランドは近代史において度重なる進行や革命を経験しており、政治学・歴史において興味深い国です。もし来年も機会があればぜひ後輩たちには行ってほしいと思います。